

No.63



小平市図書館だより



発行・小平市立図書館 平成22年9月 問合せ・小平市中央図書館 〒187-0032 小平市小川町2-1325 TEL 042-345-1246

小平のまちの移り変わり



小平学園駅 昭和41年撮影（浅見哲夫氏寄贈写真）

＊ 一橋学園駅周辺 ＊

西武多摩湖線は、昭和3年に国分寺から萩山間が、開通しました。

当時は停車駅が今より多く、電車に乗り遅れても次の駅まで走れば間に合ったとか。路線にはわが国最初のガソリンカーが走っていました。

ガソリンカーは、乗りごちがあまり良くななく、昭和5年に電車に切り換えたそうです。

小平学園駅の西側は『学園西町』で住宅が多く、東側は『学園東町』で商店が多い町です。昭和41年に小平学園駅と一橋大学駅が統合されて、一橋学園駅になったそうです。

（参考：「郷土こいだいら」）

【一橋学園駅の北踏切を東側から見る】



昭和58年11月8日撮影



平成22年6月8日撮影

*これらの写真は、郷土写真収集事業（分担：喜平図書館・上宿図書館）のなかで収集・保存しています。

心を豊かにする図書館をご利用ください

小平市中央図書館長 松原悦子

今年で小平市立図書館は開館35周年を迎えました。この間に、資料を充実させるとともに、「15分歩けば図書館が利用できる」図書館網を築き、市民の皆様が読書に親しむ環境を整えてまいりました。

さて、読書離れが指摘されているこの頃ですが、感動を受けたり、知識を習得したり、多様な考えに触れたりすることのできる読書の価値が見直されつつあります。今年には国民読書年。国をあげて読書に対する国民意識を高める努力を重ねていくことが宣言されています。小平市立図書館では、資料を貸し出すだけでなく、講演会・講座、展示やおはなし会等各種の取組みをしておりますので、これを機会に、読書の楽しみを広げる場として、さらには、心を豊かにする場として、お近くの図書館を是非ご利用ください。

図書館紹介

中央図書館 その1



中央図書館は、昭和60年(1985)に開館し、今年で25周年を迎えました。小平市の図書館の中心館として、7つの地区図書館と3つの分室の図書館サービスを支えています。また、中央図書館のマークは知の象徴である「ふくろう」です。

～誌上ツアーへどうぞ～

中央図書館は、地上3階、地下1階で約4,700㎡の広さがあります。

明るく広い1階は、総合カウンターで利用者登録・リクエストの受付、図書の検索や貸出・返却などを行っています。一般書や児童書のコーナー、雑誌や新聞があるブラウジングコーナー、DVDなどの試聴コーナーがあります。CD、カセットは貸し出しができます。利用者用端末は7台あり、図書の検索や予約などができます。



1階 総合カウンター

ブラウジングコーナー・試聴コーナー

2階へ上がってみましょう!

参考室、読書室、おはなし室、対面朗読室、図書清掃室、ボランティア室などがあります。

参考室には、レファレンスカウンターがあり、利用者の皆様の図書に関する相談や様々な調べもののお手伝いをします。朝日新聞データベース『聞蔵IIビジュアル』を始め、インターネット検索用パソコンもあります。また地域資料室には、小平市の統計や予算書などの行政資料、古文書史料集、玉川上水関連資料、地図などを豊富にそろえています。



参考室とインターネット用パソコン



地域資料室(参考室内)



小平市立図書館では、返却された本をすべてアルコールで清掃しています。皆様ご存知ですか? 図書館開館のころ、職員が本の土ぼこりをぞうきんで拭いていたのが始まりでした。



現在は、シルバー人材センターの方が毎日、図書清掃室でアルコールをつけた布で本の消毒と分類順に並べる作業をしています。

ボランティア室では、図書修理などの研修を受けた図書館ボランティアが活動しています。



本の修理、おはなし会等のプレゼント作成、休館日の書架整理などを行っています。

(次号につづく)

今年は国民読書年です

中央図書館では、図書や読書に関する各種行事を予定しています。どうぞご来館ください。

展示

☆小平市立図書館35周年記念「国民読書年」事業

「講演会の樹～小平の図書館講演会にいらした講師の方々～」

期間:平成22年7月17日(土)～10月20日(水)

場所:中央図書館 2階展示コーナー

☆国民読書年記念展示会「藪内正幸 絵本原画展」

期間:平成23年1月22日(土)～3月16日(水)

場所:中央図書館 2階展示コーナー

講演会

☆「児童文学にえがかれた家族」

講師:市村久子さん

日時:平成22年11月17日(水) 午前10時～正午

場所:中央図書館 3階視聴覚室

主催:小平市教育委員会・小平市子ども文庫連絡協議会

図書館の謎

ミステリー 8

図書館の本が汚れていたり、水ぬれのあとがあるのはなぜですか？

<図書館の本はどのようにして汚破損本になるのか？>

皆様は新聞を読みながら、朝食を食べますか？あるいは雑誌を読みながらランチを食べたりしますか？お茶やコーヒーが新聞や雑誌にかかったり、おかずがこぼれて記事を汚したりすることがあると思います。じつは図書館の本が食べこぼしで汚破損本になることは、めったにありません。利用者の皆様には、図書館の本を大事に読んでいただいています。職員一同感謝しております。ただし、本人が予想していなかったことが原因で、本が汚破損本になってしまうことがあるのです。

事件は食卓でおきている

食卓では様々な悲劇がおきます。一番多いのは、コーヒーや紅茶・牛乳などの飲み物をこぼしてしまった先に、たまたま図書館の本があったというものです。醤油やソースなどの調味料でも発生します。そんなこともあろうかと食卓ではなく椅子に置いていたにもかかわらず、牛乳の1リットルパックが倒れてしまい、椅子にまで降り注いでしまうこともあります。

先日はこんな例がありました。食卓を台布巾できれいにふき、飲み物も調味料のびんも片付けて、ゆっくり読もうと図書館の本を置いた。雨が降ってきたので、急いで洗濯物を取り込みに行った。するとそこに家族の誰かがやってきて、ジュースを飲んだ。食卓にコップを置こうとしたところ、図書館の本があるのに気がついた。図書館の本をぬらしては大変だから、はじに移動させた。運悪くそこにはぬれた台布巾があり、布巾の水分を本が吸収してふくれあがってしまった。こんなこともありますので、食卓やその周辺にはご自身の大切な本も置いておかないほうが良いのでは……。

カバンの中でも

本にとって危険なのは夏です。図書館内での飲食はできませんが、最近ではペットボトルを水筒代わりにしている方が、大勢いらっしゃいます。冷たい飲み物が入ったペットボトルには水滴がつきます。雨も降っていないのに、水にぬれている本を返却された方がいました。どうして本がぬれるのかと首をかしげていましたが、カバンを開けてすぐに原因がわかりました。その方の手帳も水にぬれていて、ペットボトルに手帳の表面の色がついてしまっていたのです。

どうぞ、皆様お気をつけください。

★汚破損本の展示のご案内

- ・大沼図書館 9月 4日(土)～15日(水)
- ・上宿図書館 9月 18日(土)～30日(木)
- ・花小金井図書館 10月 2日(土)～14日(木)
- ・喜平図書館 10月 16日(土)～27日(水)



ぬの えほん し 布の絵本を知っていますか



布の絵本・遊具は小川西町図書館で所蔵しています。市内にお住まいの障がいのあるお子さんのいるグループを対象に貸し出しています。

布の絵本・遊具のカタログは、市内のすべての図書館にあります（分室を除く）。写真がのっていますので、ご覧になって選ぶことができます。市内のどの図書館でも予約でき、受け取れます。1回の貸し出しで5タイトルまで2週間借りられます。

※布の絵本・遊具は市内で活動されているボランティア団体「拡大写本の会ひまわり」が心身に障がいのある子どもたちのために、機能訓練に役立つようにと作成していただいているものです。

「拡大写本の会ひまわり」は、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた実践を行っている団体として、今年の4月に文部科学省より表彰されました。



〈布の絵本「はらぺこあおむし」〉



〈布の絵本の製作風景〉



〈布の遊具「どうぶつえあわせ」〉

学校図書館の紹介 小平市立上宿小学校

図書ボランティアと図書委員会による装飾作り



上宿小では、図書ボランティアの方と図書委員会の子どもたちが一緒に読書紹介を兼ねた装飾を作る活動が行われています。

今年第1回目は、5月の委員会の時間に、子どもたちが全体像をデザインし、ボランティアさんたちが具体化しながらすすめていきました。

梅雨の時期に合うように、雨降りの後の虹とあじさいと傘がカラフルで華やかな装飾が出来上がりました。中心には、子どもたちが「目標に向かってがんばる人」をテーマにして本の紹介をしました。第2回目は、3学期に委員会の子どもたち中心に行う予定です。ボランティアの方たちのアドバイスを受けて一緒に活動していきたいと思えます。

このほかに、毎年人気のシリーズものを中心にたくさんの修理本が出ますが、それをこつこつと直して下さっているのも、ボランティアさんたちです。また、劇仕立てで図書室の利用の仕方を指導するために、昨年は、「レクチャーキャラバン」が1、2年生を対象に行われました。この活動もそうですが、ボランティアの方が自発的に気づいたことを子どもたちに伝えていこうと下さって助かっています。

フクロウ博士の図書館活用百科

～図書館職員は質問された資料をどうやって探しているのか？～

Q.環境にやさしい自転車生活を楽しみたいの
ですが、資料がありますか？
A.まず小平市の図書館に所蔵している資料を



図書館では利用者の皆様からの質問にお応えしています。今回は身近な質問なのですが、いろいろな探し方があります。図書館の本は日本十進分類法(NDC)で分類されています。

この分類表の索引で『自転車』を引くと自転車(工学)の分類536.86の書架には、自転車の選び方、メンテナンスの本があります。自転車(スポーツ)の分類786.5の書架には、サイクリングで楽しめる本があります。どこかに散歩や旅行に行きたいときは、地理・旅行ガイドを探してください。地域資料・雑誌もおすすめです。図書館で所蔵していない資料は、リクエストしてください。

自転車関連図書資料リスト

★ 自転車で出かけよう！

	タイトル	著者名	出版者	所蔵館	分類番号
1	自転車と行ってきます！	絹代	エイ出版社	花小金井 津田	291.09
2	快走！大人の自転車旅		学研	中央 仲町	291.3 地域資料
3	関東周辺 スポーツサイクリング・コースガイド	山と溪谷社	山と溪谷社	中央 仲町 花小金井 小川西町	291.3 地域資料
4	自転車でめぐる東京・江戸ガイド	ご当地かご付き 自転車愛好会	彩流社	中央 仲町	291.36 地域資料
5	東京・武蔵野自転車散歩マップ	自転車生活 ブックス編集部 編	ロコモーション パブリッシング	中央 喜平 花小金井 小川西町 上宿 大沼	291.36 地域資料
6	多摩のまち自転車探検	斉藤 円華	けやき出版	中央 仲町 花小金井 上宿 大沼	291.36 地域資料
7	ゆる～り自転車さんぽ No.1 多摩川		ネコ・パブリッ シング	中央 上宿 大沼	291.36 地域資料
8	ゆる～り自転車さんぽ No.2 鎌倉・湘南・三浦		ネコ・パブリッ シング	大沼	291.36
9	ゆる～り自転車さんぽ No.3 東京・下町		ネコ・パブリッ シング	大沼	291.36
10	ゆる～り自転車さんぽ No.4 東京・武蔵野		ネコ・パブリッ シング	中央 上宿 大沼	291.36 地域資料
11	ドイツ自転車旅行を楽しむ	小柳津 厚尚	連合出版	津田	293.4
12	地球の歩き方ポケット パリー自転車とメロでまわる		ダイヤモンド・ ビッグ社	仲町 花小金井	293.53

★ 自転車の選び方、メンテナンス

	タイトル	著者名	出版者	所蔵館	分類番号
13	自転車のメンテナンス	白井 友次	ナツメ社	中央 上宿 小川西町 津田 大沼	536.86
14	いちばんやさしい ロードバイクメンテナンス&乗り方完全ガイド	満生 文洋	池田書店	中央 上宿 花小金井 小川西町	536.86
15	自転車依存症	白鳥 和也	平凡社	中央 津田	536.86
16	誰でもできる自転車メンテナンス	竹内 正昭	山と溪谷社	大沼	536.86
17	まちがいたらけの自転車えらび	エンゾ・早川	双葉社	小川西町	536.86
18	GO!GO!自転車		成美堂出版	仲町 花小金井	536.86
19	自転車のフィッティングがわかる本	絹代	エイ出版社	仲町	536.86

★ サイクリング、乗り方など

	タイトル	著者名	出版者	所蔵館	分類番号
20	知識ゼロからのサイクリング入門	三浦 恭資	幻冬舎	中央	786.5
21	自転車で健康になる	中村 博司 高石 鉄雄	日本経済 新聞出版社	中央 仲町	786.5
22	自転車散歩の達人	山川 健一	講談社	中央 大沼 花小金井	786.5
23	自転車で健康にやせる方法	いしわたり 康	ロコモーション ンパブリッシング	仲町	786.5
24	スポーツ自転車を100%楽しむ本	竹内 正昭	山と溪谷社	仲町 喜平	786.5
25	中高年のための楽しいサイクリング生活入門	丹羽 隆志	日本放送出 版協会	仲町 上宿 小川西町	786.5
26	大人のための自転車通勤読本	松田 力	東京書籍	仲町 大沼 小川西町	786.5
27	これからの自転車読本	川口 友万 ほか	東京地図 出版	中央 仲町	786.5
28	自転車のある生活を楽しむ	青山 安彦	技術評論社	小川西町 喜平 津田	786.5
29	自転車で遠くへ行きたい	米津 一成	河出書房新 社	仲町	786.5

★ 雑誌もあります

	タイトル	著者名	出版者	所蔵館	刊行
30	サイクルスポーツ		八重洲出版	上宿	月刊
31	New Cycling (ニューサイクリング)		エヌシー企画	中央	月刊